

令和元年度 第1回 学校評議委員会 記録

日時 令和元年 6月 20日 (木)

13:30～15:00

会場 気仙光陵支援学校

【出席者】

<p><学校評議員></p> <p>A 委員 (教育者関係)</p> <p>B 委員 (地域関係)</p> <p>C 委員 (地域関係機関)</p>	<p><学 校></p> <p>校長</p> <p>副校長 2名</p> <p>事務長</p> <p>教務主任</p> <p>小学部主事</p> <p>中学部主事</p> <p>高等部主事</p> <p>寮務主任</p>
--	--

当日欠席 D 委員 (卒業生関係) E 委員 (進路先関係者)

1 開会のことば

2 校長挨拶

- ・4月から着任したが、一昨年度までは副校長としてお世話になりました。
- ・学校評議員の皆様には今年度もご指導いただきたい。
- ・児童・生徒は減少傾向にある
- ・学校経営計画等の説明をするが、よりよい児童・生徒の学びのために忌憚のないご意見をいただいて今後の学校運営に生かしていきたい。

3 出席者紹介・・・上記出席者のとおり

4 協議

- (1) 学校経営計画について (校長)
別紙資料により校長が説明
- (2) 各学部・寄宿舎運営計画について
スライドにより学部主事・寮務主任が説明
- (3) 進路指導の状況について
資料により高等部主事が説明
- (4) 支援事業の状況について
資料により担当副校長が説明
- (5) その他

(6) 協 議

(A 委員)：小学部の学部スタンダードとは何か。学びの「定型化」と捉えて良いか・

(小学部主事)：教室配置や掃除の仕方、勉強の進め方など、担当によって違いが出ないように、学年や担当が変わっても同じ学びが進められるように学びのスタンダードを設定している。

(B 委員)：「B 型作業所」の意味を教えてください。

(高等部主事)：就労継続支援には A 型、B 型があり、A 型は働いた分給料（最低賃金の保障）の支払いがあり、職業安定所と関係している。B 型は事業所の基準での工賃が支給される。

(C 委員)：特別支援教育サポーター養成講座とは、どのような人が対象でどのくらいの人が参加しているのか。

(中学部主事)：県内の特別支援学校が持ち回りで担当する講座一般の方が受講対象。気仙光陵支援学校が担当するのは 3 年に 1 回。1 期間 8 回の講座があり、受講を修了した方は特別教育支援サポーターとして登録が可能。昨年度は県内で 200 人ほど登録しているが、気仙地域は 10 人ほど。1 回の講座で 10 人ほどの受講がある。(昨年度の県内登録者は 236 名)

(B 委員)：農耕環境班では何を作っているのか。

(寮務主任)：ネギ、じゃがいも、トマト、大根、カボチャも作りたい。

(B 委員)：ピーマンを作るなら私にも一声かけて下さい (笑い)。

(A 委員)：進路に関わって現場実習など先生方が全部 (引率で) 行くのか。就労支援の方も入るのか。

(高等部主事)：ケース・バイ・ケースです。事業所の方にお問い合わせしたりして対応している。

(A 委員)：実習や職場見学がそのまま進路と一致することもあるのか。

(高等部主事)：あります。ただし、実習でやった内容と仕事の内容は必ずしも一致しないこともある。

(A 委員)：最近では大人でもコミュニケーション能力が下がっていると感じている。職場などでコミュニケーション不足でぶつかり合うこともあると思う。本校ではどうやって児童・生徒のコミュニケーション能力、社会性を育成しているのか。

(中学部主事)：やはり場数が大事。ポスター配布など積極的に地域社会に関わることで地域の方との交流を図っている。

(高等部主事)：中学校から本校に進学した生徒は中学校までは埋もれていて自信をなくしている子が多い。本校進学後は規模も小さく、安心感を得られる。安心感を持たせることが大事。

(小学部主事)：とにかく挨拶を大事にしている。登校時の挨拶運動などで挨拶を介してのコミュニケーション能力の育成を図っている。低学年においては大人との関わり、安心して大人と関わられるように、高学年においては大人が間に入りながらもクラスの子ども同士で関わられるようにしている。

《指導・助言》

(A 委員)：子ども達のがびのがびして明るい雰囲気を感じた。教員が豊かな心で接している、と思った。小学部で挨拶を徹底しているのが良い。コミュニケーション・ツールとして挨拶を大事にしてほしい。

(B 委員)：卒業した子ども達を受け入れる施設が理解をもって受け入れてくれて、(卒業生が) 生きがいを持って生活ができるようになってほしい。「立根川を守る会」など地区の公民館で共同できることもある。地域の活動など協力できることは協力していきたい。

(C 委員) 10 年くらい前も一度評議員を務めているが、子ども達の数が少なくなっていると感じた。
ただ(職員が)子ども達一人一人の個性に丁寧に愛情を持って接していると感じた。挨拶の様子がとてもよい。アットホームな感じが伝わってきた。

5 閉会のことば